

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和元年度 第1回寒川町環境審議会		
日 時	令和元年7月18日(木)午後2時00分～5時00分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第1会議室		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	<p>【出席委員】河合委員、中沢委員、大津委員、清田委員、初鹿委員 皆川委員、沖本委員、佐藤委員、平本委員、宇條委員 片谷委員、坂本委員、若松委員、</p> <p>【事務局】環境経済部：大川部長 環境課：小林課長、椎野主査、榊原主事補 都市計画課：野呂主査 農政課：角田主幹</p> <p>【欠席委員】木村委員 【傍聴者】なし</p>		
議 題	<p>(1) 会長、副会長の選出 (2) 平成30年度版寒川町環境報告書(案)について (3) その他</p>		
決定事項			
議 事	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 町長あいさつ（常盤副町長代理） 4 各委員自己紹介及び事務局自己紹介 5 審議会の確認事項、取り決め事項について 6 議事録承認委員の選出：河合委員、中沢委員 7 議 題</p> <p>（1） 会長、副会長の選出</p> <p>立候補なし。事務局案として片谷委員を会長、坂本委員を副会長として推薦し、各委員の了承を得て決定した。片谷会長、坂本副会長より就任のあいさつ。</p> <p>（2） 平成30年度版寒川町環境報告書（案）について</p> <p>事務局より環境報告書全体の構成や概略を説明し、「3.平成30年度さむかわの環境の概要」から、「9.重点プロジェクトの点検・評価」までおける内容説明と質疑応答の議事進行方法について確認。</p>		

片谷会長より、今回は各章ごとに区切って質疑を受け付けることとした。

<3. 平成30年度 さむかわの環境の概要> P5~P17

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P6、「地域での環境教育・環境学習の普及」で、7行目、「昨年度と比較して686人の減」とあるが、「399人」に修正。

P8、「農業とふれあう機会の創出」で、3行目、「湘南モールフィル」とあるが、「湘南テラスモール」に修正。

P14、「民有地内の緑化」で、2行目、「体験コーナーを継続」とあるが、「苗木等の配布を継続」に修正。

P15、「ごみ発生の抑制（事業系を含めた一般廃棄物）、再利用・リサイクルの推進」で、グラフおよび全体の記載内容について、集計中のため仮の記載となっている。第2回の環境審議会でお示しする。

P16、「可燃ごみの種類 組成分析」のグラフで、内訳の項目の記載が重なって読み取れないため、当該ページを差し替え。

P17、「省エネルギーの推進」で、9行目、「LED証明」となっているので、「LED照明」に修正。

※質疑応答

（若松委員）「3. 平成30年度 さむかわの環境の概要」の全般的に言えることだが、記載の表現や言い回しが平成29年度とまったく一緒となっている。この表題であれば平成30年度に行った内容を特筆すべきではないか。そもそも年度の環境報告書とは、当該年度の実施事項の概要やその成果、また次年度以降に対する課題を記載すべきものである。

（片谷会長）若松委員の言うとおりに、「さむかわの環境の概要」は平成30年度に特化した内容で記載すべき。

（事務局）修正する。

（河合委員）P6、「地域での環境教育・環境学習の普及」で、7行目、環境フェスティバルの参加人数の増減を細かく記

	<p>載しているが、このような情報は不要と思う。それよりも増加策を検討すべき。</p> <p>(片谷会長) 広報やホームページなど、周知方法を工夫するとしてはどうか。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(河合委員) 「環境活動の活発化」で、7行目、目久尻川小出川美化キャンペーンを実施したにも関わらず、昨年度と比較して787人の減とあるが、787人の減となった理由を記載すべき。要は、平成29年度より参加団体が減ったとともに、参加人数も減少したということ。こういった傾向にあるので対策が必要と記載すべき。個人レベルの周知が必要である。ごみを拾いに来ては実際にはごみはあまり落ちていないので、参加者が減っているのではないか。町民の交流の場という意味もある。今後の美化キャンペーンの趣旨を考えることが必要。参加人数の増につながる対策の検討を行い、報告書に記載すべき。</p> <p>(片谷会長) 参加者が減となった直接的な理由とその対策を検討していることを記載すべき。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(若松委員) P7、「ホテル復活プロジェクト」の記載も平成29年度とほぼ同じ。先ほど事務局よりホテルの発光や飛翔が多く見られたと補足の説明があったが、そういったことを記載すべき。</p> <p>(片谷会長) 平成30年度は何か従来と変わった取り組みはなかったのか。</p> <p>(河合委員) 平成30年度は、初めて寒川産のホテルの幼虫を50匹放流して観察した。それまでは上流市から譲り受けていた。こういった内容を記載すべき。補足だが、平成31年3月に放流した幼虫はすべて寒川産である。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(若松委員) P8、こちらのページの各項目も記載内容は平成29年度とほとんど変わらない。</p> <p>(河合委員) 「在来生物の保全や外来生物の駆除等」では、特定外来生物のアライグマの捕獲状況のみ記載しているが、町ではハクビシンやカラスなども捕獲している。ハクビシンなどについても害獣なので記載すべき。</p> <p>(事務局) 修正する。(カラスは在来種)</p> <p>(河合委員) 「調査等の実施」では、湧水調査の記載があるが、調査結果で平成29年度と変わったところなどを記載すべき。私有地内の湧水池の管理状況や、エコネットが公園内の湧水池を清掃したことなどは、ここでは不要</p>
--	---

	<p>と考える。また、6行目以降にサギやタゲリ、川の生き物、昆虫の調査について記載しているが、ギンイチモンジセセリ（準絶滅危惧種）、ミヤマアカネ（準絶滅危惧種）、コフキトンボ（要注意種）などの希少な昆虫も寒川町で見つかっている。こういったことを記載すべき。</p> <p>（片谷会長）これらの昆虫が見つかった場所を具体的に記載することは好ましくないが、希少種が見つかったことは記載すべき。</p> <p>（事務局）修正する。</p> <p>（若松委員）P16、ごみについての記載だが、昨今、マイクロプラスチックが世界規模で問題になっている。こちらについては何か対策はしているか。</p> <p>（事務局）平成30年度は特に大きな対策は行っていない。</p> <p>（片谷会長）レジ袋の削減の推進など、今後の方針が必要。</p> <p>（河合委員）相模川のプラスチックの流出防止対策などを記載してはどうか。平成30年度に話題となって、これからやるものについても記載してよいのではないか。</p> <p>（片谷会長）平成30年度の環境報告書なので、これから行う取り組みは令和元年度の環境報告書に記載することとなる。</p> <p>（事務局）令和元年度は廃棄物減量化等推進協議会がエコバッグの配布を行う予定。</p> <p>（若松委員）同じくP16、12行目以降に平成29年度より不燃物として収集していた蛍光灯と、水銀式体温（血圧）計を資源物として回収したとあるが、平成30年度の回収結果はどうだったのか。ここで記載するべきではないか。</p> <p>（事務局）修正する。</p> <p>（若松委員）P17、「省エネルギーの推進」で、グラフの下に過去のLED照明等を導入した経緯が書いてあるが、平成30年度の報告書なので、この箇所は全て不要。LED照明導入のメリットを記載するとともに、平成30年度の増減の理由を記載すべき。例えば、小中学校の電気使用量が上昇したのは猛暑が原因など。</p> <p>（片谷会長）寒川町は各小中学校にエアコンを導入したのか。</p> <p>（事務局）小学校は今年度に導入した。</p> <p>（清田委員）中学校はすでに導入済み。（平成29年度）</p> <p>（片谷会長）これまでの経緯ではなく、平成30年度の内容を記載すべき。</p> <p>（事務局）修正する。</p> <p>（若松委員）P19、「低炭素社会形成に向けた活動」で、写真とグラフが変わっているだけで、記載内容は平成29年度とまったく同じ。</p>
--	---

(事務局) 内容については、平成29年度と同様に実施したため。
(片谷会長) 実施内容が同じでもイベントの参加人数や、バスツアーであれば行先なども変わっているはず。参加者の感想などの評価もあれば記載すべき。
(事務局) 修正する。

<4. 第2次寒川町環境基本計画 総括評価> P20

事務局より内容の説明を行った。(7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし)

<5. 第2次寒川町環境基本計画 体系と評価> P21~P28

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P21、環境指標「さむかわエコネット登録人数」で、評価の「→(基準年度と変わらない)」を、「↑(基準年度より前進している)」に修正。

P22、施策の取組方針の18行目、「4. 学校給食に地域の安全な農産物の使用を進めます」の担当課を、「学校教育課」から「教育施設・給食課」に修正。

P22、施策の取組方針の22行目、「4. 他の事業との連携により農業の活性化を図ります」の担当課を、「教育施設・給食課」から「産業振興課」に修正。

P27、施策の取組方針の2行目、「2. 学校でのごみ減量化を進めます」の担当課を、「学校教育課」から「教育施設・給食課」に修正。

(7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし)

<6. 基本目標の評価(環境指標の目標と実績)> P29~P33

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P29、環境指標「環境学習講座や自然観察会の参加人数(環境課事業)」で、実績値の「5,624人」を、「4,624人」に修正。

P29、環境指標「さむかわエコネット登録人数」で、評価の「→（基準年度と変わらない）」を、「↑（基準年度より前進している）」に修正。

（7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし）

<7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価>

<基本目標1 【参加と協働】環境の保全と創造に積極的に取り組む暮らし> P34～P40

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P36、取り組み状況と今後の方向性の8つ目、「催事内容を見直し」の「を」が抜けているので修正。

P38、取り組み状況と今後の方向性の11個目、「環境講座を開催した。。。」と「。」が一つ多いので修正。

P40、取り組み状況と今後の方向性の2つ目、相模川美化キャンペーンの記載の上に、平成30年度に実施した目久尻川小出川美化キャンペーンの記載が入る。5月12日に実施し、参加者は291人、参加団体は23団体、その他は個人・職員・議員が参加。ごみの回収量は合計320kgで、内訳は可燃ごみが240kg、不燃ごみが80kg。

※質疑応答

（河合委員）P34、基本目標に対する評価の説明で、企画展示が3箇所とあり（図書館2回、総合体育館）とあるが非常に分かりにくい。

（片谷会長）環境指標では「3箇所」とあるので、図書館で2回実施したのであれば、「延べ3箇所」と記載するべきではないか。

（事務局）修正する。

（若松委員）P36、協働文化推進課の取り組み状況と今後の方向性において、ここも実施内容や記載の表現が平成29年度とまったく一緒となっている。これでは、実際にやったのかどうか分からない。平成30年度でも実施したのであれば、具体的な数値や効果を記載するべきではない

か。評価も4とあるが、この評価で妥当か。

(事務局) 平成30年度では、自治会を対象にごみ減量・リサイクルについて出張講座を行った。

(若松委員) そうであれば、そのように記載すべき。

(片谷会長) 記載にあるとおり、平成30年度に環境分野の学習機会を提供したのであれば、どのような内容で実施したのかを記載すべき。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P37、施策の体系「学校における環境教育の充実」の全般において、内容は変わっていない。

(事務局) 新たな取り組みとして、一之宮小学校・南小学校4年生に対して実施した環境教室について記載した。

(片谷会長) その他の取り組みは平成29年度に引き続き実施したということか。

(若松委員) 平成30年度に実施して、何人が参加して効果はどうだったかを記載すべき。

(片谷会長) 変わらず行っているものもあるので、すべてを書き換えることは難しいが、参加人数や参加した感想などは先生に確認して記載できるはず。例えば、先ほどの学校での環境教室では、「子ども達の関心が高く質問攻めにあった」など。実際の参加人数の把握が難しければ、実施した学年の児童数でもよいのではないか。

(事務局) 承知した。確認して修正する。

(若松委員) P38、協働文化推進課の取り組み状況と今後の方向性において、ここも実施内容や記載の表現が平成29年度とまったく一緒となっている。平成30年度はどのような内容で実施したのか。

(事務局) 確認して修正する。

<基本目標2 【自然環境】自然を守り、育てるまち> P41～P45

事務局より内容の説明を行った。

※質疑応答

(河合委員) P41、環境指標「保存樹木指定本数」で平成30年度の実績値47本とあるが、これは平成27年度に調査した際に47本で、その後開発行為で少なくとも3本はなくなり、44本ぐらいになっていると思う。本数についてどのように管理しているのか。

(野呂主査) 台帳で管理している。本数の不一致については確認する。

(片谷会長) 台帳上は残っていて、現物はないということもあるので、台帳と現物の付け合わせをして、次回までに報告を。

(野呂主査) 承知した。

(河合委員) 取り組み状況と今後の方向性の9つ目、「樹木名と説明文」の表示杭を設置したとあるが、これは平成29年度に行った取り組みで、平成30年度は実施していない。

(事務局) 修正する。

(河合委員) 取り組み状況と今後の方向性の下から3つ目、平成27年度より保存樹林・樹木をエコネットが調査しているという記載だが、実際は平成27年度に保存樹木のみ実施して、その後は行っていない。よって、「平成27年度に保存樹林・樹木の調査をさむかわエコネットにご協力いただいて実施した」という記載が正しい。

(事務局) 修正する。

(河合委員) 施策の取組方針の一番下、「町民参加による樹木・樹林の維持・管理活動への支援を行います」とあるが、この記載に以前から疑問を感じていた。これは、町が指定する以外の樹木・樹林のことを指しているのではないか。取り組み状況と今後の方向性での記載を見ると、「個人所有で町民参加は難しい」とあって、内容が一致しない。

(片谷会長) ここでの取り組みの意味をよく精査すること。

(事務局) 承知した。(その後、確認したところ、施策の概要では「住民参加による保存樹木・樹林等の維持管理体制の構築」であることから、内容の不一致はないことが判明した。ただし、実際の取り組む内容については検討を要する。)

(河合委員) P42、取り組み状況と今後の方向性の下から2つ目、平成27年度より保存樹林・樹木をエコネットが調査しているという記載も先ほどと同じ内容。

(事務局) 修正する。

(片谷会長) P44、農政課の家庭菜園に関する記載で、都市農業の推進のために家庭菜園の取り組みを継続するとあるが、実際は大幅に減少した。その反響はどうだったのか。

(角田主幹) 事前に周知していたため、大きな混乱はなく、利用者の理解を得られた。

<基本目標3 【生活環境】健康で安心して暮らせるまち> P46～P53

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり

依頼した。

P49、取り組み状況と今後の方向性の5～7行目、枠の幅が狭く文章が潰れてしまっているので、次回までに修正。

※質疑応答

(坂本副会長) P48、取り組み状況と今後の方向の下から4つ目、「大腸菌群類」とあるが、「大腸菌群数」が正しい。また、「PH」とあるが、これは「pH」で「p」を小文字とするのが正しい。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P50、取り組み状況と今後の方向の下から2つ目と3つ目で、道路交通騒音・振動の調査と臭気濃度調査は、平成30年度はいずれも不実施とある。実施していないにも関わらず評価は4でよいのか。

(片谷会長) これらについては、実施していないので評価はできないのではないかと。「評価なし」と記載すべき。

(事務局) 修正する。他の箇所の記載も確認して、同じ内容とする。

(河合委員) P51、取り組み状況と今後の方向の下から2つ目、地下水の涵養のために現状の樹林地の保全や、指定条件の見直しを行うことが記載してあるが、そもそも寒川町において、樹林地を保全することが地下水の涵養につながるのか。また、これは指定条件を緩和するということか。例えば、越の山の高台に樹林地があるが、こういったものを指定するのか。

(片谷会長) 一般的に農地や樹林地などであれば、それが多ければそこに雨水が浸透して、地下水の涵養につながっていくが、実際に取り組む内容についてはよく検討しなければならない。

(事務局) 承知した。記載内容の修正について、担当課と調整する。

(若松委員) P52、取り組み状況と今後の方向の下から3つ目、先ほども指摘したが、平成30年度に水準測量を行っていないのに評価4となるのはおかしい。

(事務局) 「評価なし」に修正する。

(若松委員) P53、施策の概要「ダイオキシン類の継続調査」で、この取り組み状況と今後の方向性を見ると、平成30年度は何も調査していない。ここも評価4がつくのはおかしい。

(事務局) 「評価なし」に修正する。

<基本目標4 【都市環境】 緑や文化を大切にすゝ快適で安全なまち
> P46~P53

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P56、基本目標の4-2、P58、基本目標の4-3、P62、基本目標4-4の「総合評価」の下の枠の記載で、「基本目標に対する評価の説明」と記載すべきところが、すべて「★施策の取組方針や環境指標の妥当性」と記載されている。次回までに修正。

P56、その「基本目標に対する評価の説明」で、「カワラノギク種まき」とあるが、平成30年度は行っていないため削除。

※質疑応答

- (片谷会長) P54、取組み状況と今後の方向性の一番下、平成30年度より生垣支援制度を廃止したとあるが、廃止したことによる影響は何かあったのか。
- (野呂主査) 特に町民からの苦情等はなかった。平成29年度も申請はなかった。
- (片谷会長) 生垣は植えた後の管理が問題となってくる。剪定など定期的に手を加えなければならない。
- (事務局) 環境課にも、隣の家が生垣や植木が手入れされておらず、敷地に入ってくるなどの苦情が寄せられている。
- (若松委員) P59、取組み状況と今後の方向性の3つ目と下から6行目、P60、取組み状況と今後の方向性の1つ目、すべて同じ内容の記載だが、「平成19年度に施行した住みよい環境を守り育てるまちづくり条例の横断幕の掲示を実施し啓発を図った」とあるが、これは実際に実施したのか。
- (河合委員) 横断幕の掲示については見かけた記憶がないので、平成30年度は行っていないと思う。
- (事務局) 過去に取り組んだ内容を記載していた。ご指摘のとおり平成30年度は横断幕の掲示は行っていない。
- (片谷会長) 代わりに取り組んだものはないのか。
- (事務局) 平成30年度も継続して掲示したものとして、町役場本庁舎前の三面啓発塔で、まちづくり条例の周知を行っている。
- (片谷会長) 実際に三面啓発塔でまちづくり条例の周知を行っているのであれば、そのように記載すべき。

(事務局) 修正する。

(事務局) また、P63、取り組み状況と今後の方向性の下から2つ目と5つ目、どちらも同じ内容の記載だが、放射線の測定は基準を下回っているため、平成30年度以降は不実施とした。これは、東日本大震災による原子力発電所の事故を受けて、町でも定期的に測定していたが、記載のとおり基準を下回る数値が続いており、今後も測定を続けることは不要と判断したことによるもの。なお、他市町村の動向は調査していない。

(片谷会長) 東日本大震災から8年が経過し、推測だが放射線の測定を継続している市町村は少ないのではないかと。県では測定しているか。

(坂本副会長) 県では測定している。このページでも記載されているが、県の衛生研究所にモニタリングポストがある。おそらく何か問い合わせが来るとしたら、県の環境科学センターに来るのではないかと。

(片谷会長) 町が独自で測定しなくても、県の測定データを活用するという方法もある。町のホームページから県のデータを閲覧できるよう、リンクを貼ればよいのではないかと。

(事務局) 取り組み状況と今後の方向性の下から3つ目に記載のとおり、県の衛生研究所の常時監視結果を町ホームページか参照できるようリンクを貼っている。

(片谷会長) それであれば、全国的な変動傾向が分かるよう、リンクを貼ればそれも有益な情報提供となる。

(事務局) 承知した。(その後、確認したところ、町のホームページにおいて、全国的な放射線の測定結果が確認できる原子力規制委員会の「放射線モニタリング情報」へのリンクがすでに貼られていたことが判明した。)

<基本目標5 【資源・エネルギー、地球環境】エネルギー・水・ものを大切にした地球環境にやさしいまち> P64～P71

事務局より説明を行う前に、平成29年度版環境報告書における環境指標「一人1日当たりのごみ排出量」、「リサイクル率」の達成目標の数値について、誤った数値で公表したことを報告した。この修正方法について、正誤表の発行をもって修正としてよいか、会長、副会長及び各委員に確認した。会長より各委員に諮った結果、事務局の提案のとおり正誤表の発行をもって修正とすることに決定した。

ページの修正等について次のとおり依頼した。

P64、取り組み状況と今後の方向性の下から4つ目で、「レジ袋削減の啓発活動を予定していたが、荒天のため中止となった。」とあるが、これは平成29年度の内容。「2月の他の事業においてエコバッグ等を配布し、啓発に努めた。」に修正。

※質疑応答

(片谷会長) 先ほど修正のあった件で、実際にエコバッグ等を配布して啓発を行ったのであれば、評価は2ではなく3としてもよいのではないか。

(事務局) 修正する。

(片谷会長) レジ袋の削減について、商業関係者に何か啓発をしているのか。

(事務局) 平成30年度は行っていない。先ほども申し上げたが、マイクロプラスチックの問題とも関係があるので、廃棄物減量化等推進協議会とも連携して取り組む必要があると考えている。現時点ではエコバッグの作成と配布を予定している。

(河合委員) レジ袋の有料化が、もっとも削減効果が高いのではないか。

(片谷会長) すでに有料化を行っているスーパーも出てきている。なお、住民の中には意識の高い方もいて、コンビニなどの袋を繰り返し使っている方も見受けられる。

(若松委員) リサイクルセンターでのプラスチックの分別で何か問題はないのか。何か変なものが混ざっているとか。

(事務局) 町のリサイクルに係るごみの分別においては県内でもよい水準にあり、特にペットボトルでは平成30年度の買い取り価格が県内において、もっとも高価な買い取り価格となった。

(清田委員) 全国紙の新聞の湘南版でもその記事が掲載された。

(片谷会長) 町と町民全体で取り組んだ結果がその成果につながった。こういったよいニュースは環境報告書にも記載するべき。

(事務局) 承知した。修正する。

(若松委員) P68、各課の省エネの推進、省エネ機器の導入に関する記載だが、どれも平成29年度の記載とまったく変わらない。平成30年度の内容を記載するべき。

(事務局) 省エネ機器の導入では、平成30年度は町民センターの誘導灯の一部をLED化したのみで、その他は特に動きはなかった。省エネの推進については変わらず取り組んでいる。例えば平成30年度のLED照明の削減効果といっ

ても、全体の電気使用量の推移は把握できるが、そこだけを抜き出して記載するのは難しい。

(片谷会長) そこまで調べるのは実際には困難であるが、省エネ推進に取り組んだ結果、省エネ意識の向上につながったなど、平成30年度の実績結果を可能な限り記載すべき。一文が加わるだけでも印象がまったく異なってくる。

(事務局) 承知した。修正する。

(若松委員) 同じくP68、担当課で一番下の消防総務課の取り組みの記載で、年度ごとに車両を更新したことを詳細に記載しているが、これは不要と考える。平成30年度の内容があればよいのであって、低公害車を導入した結果、車両全体に占める低公害車の割合がどれくらいになったかを記載すべき。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P69、取り組み状況と今後の方向性の下から4つ目で、「平成27年度にグリーンニューディール基金を活用して公共施設に太陽光発電システムと蓄電池を導入した。」とあるが、平成30年度は何もなかったのか。

(事務局) 平成30年度は特に補助金を活用して省エネ・再エネ設備を導入した事例はなかった。

(若松委員) そうなると、ここの記載はずっとこのままで残ることとなる。

(片谷会長) 太陽光発電システムであれば、発電量の実績があるはず。ここでは太陽光発電システムの定格出力や蓄電池の蓄電容量が記載されているが、各施設における平成30年度の実績を記載すればよい。

(事務局) 修正する。

<8. 重点プロジェクトの評価（総括）> P72～P73

事務局より内容の説明を行った。（9. 重点プロジェクトの点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし）

<9. 重点プロジェクトの点検・評価>

<きれいな河川の再生> P74～P77

事務局より内容の説明を行った。

※質疑応答

- (若松委員) 重点プロジェクトも一部、平成29年度の記載のままの箇所がある。
- (片谷会長) 重点プロジェクトは、文字通り重要な取り組みの進捗状況を単年度ごとに評価するものであるので、可能な限り平成30年度の内容を記載すべき。
- (事務局) 承知した。確認して修正する。

<ごみの減量とリサイクルの推進> P78~P80

事務局より内容の説明を行った。

※質疑応答

- (若松委員) この項目も平成29年度の記載と同じ内容で、評価が「◎（取り組みが進んでいる）」となっている。内容が変わっていないにも関わらず、その評価で妥当なのか。
- (事務局) 取り組みそのものは実施している。しかし、中には取り組みが進んでいないものもある。
- (片谷会長) 単年度の取り組みを評価するので、取り組み内容が変わっていないにしても、平成30年度の効果などを記載すべき。一文を加えるだけでもよいと思う。ただ同じ内容を変わず実施したのでは、評価は「○（現状維持）」が妥当である。
- (事務局) 修正する。
- (片谷会長) 令和元年度の環境報告書作成に向けて、マイクロプラスチック削減の取り組みを追加してもよいかもしれない。
- (事務局) 検討する。

<省エネルギーと地球温暖化防止への取り組み> P81~P84

事務局より内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P81、取組状況、今後の方向性及び予算への反映方針の下から2つ目で、「町民センター内の誘導灯一部をLED照明を導入した。」とあるが、「町民センター内の誘導灯の一部にLED照明を導入した。」に修正。

P84、取組状況、今後の方向性及び予算への反映方針の2つ目、「アイドリング・ノーカーデー・マイバッグ推進等の啓発を行う予定であったが、荒天のため中止となった。」とあるが、基本目標5で説明

	<p>したとおり、これも平成29年度の内容。「2月の他の事業においてエコバッグ等を配布し啓発に努め、アイドリングストップとノーカーデーについては広報12月号で周知した。」に修正。</p> <p>※質疑応答</p> <p>(若松委員) P82、取組状況、今後の方向性及び予算への反映方針の2つ目、「平成29年度に省エネタイプの空調設備に更新した」とあるが、この記載は必要か。それよりも導入した省エネ設備を平成30年度にどう活用したかを記載すべき。</p> <p>(片谷会長) 先ほどの質疑にもあったが、平成30年度の取り組みの効果などを記載すべき。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(3) その他</p> <p>(事務局) 次回の環境審議会は8月21日(水)。時間と場所は今回と同じ。ご意見があれば、7月31日(水)までをお願いしたい。本日いただいたご意見も含めて修正した環境報告書を次回に提示する。</p> <p>8. 閉会 坂本副会長あいさつ</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 第1回 寒川町環境審議会次第 ・寒川町環境審議会委員名簿(任期: R元. 7. 1~R3. 6. 30) ・審議会の確認事項・取り決め事項について ・平成30年度版寒川町環境報告書(案)
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>河合 靖 中沢 勝</p> <p style="text-align: right;">令和元年 8 月 21 日 (水) 確定</p>